

登山・登攀の記録

白神山地 赤石川

日時:1989年7月21日～7月23日

メンバー:高岸且(単独)

概要: 世界最大級のブナ原生林を持つ白神山地は、秋田県南西部から青森県北東部に広がる約1300km²の地域である。ここに青森県と秋田県を結ぶ春秋林道の建設工事に伴って、原生林の保護や保全か、林業振興かの議論を呼んでいる。現在は青森県側の工事は白紙状態である。3年前から行くチャンスを狙っていたシラカミを、一人で静かにのんびり楽しむことができた。(白神山地は1993年に世界遺産(自然遺産)に登録され、地域一帯は保全されることとなった。)

記録

7月21日 晴

JR 陸奥岩崎駅(6:00)ー赤石ダム(7:45/8:15)ー二股(11:00)ー石滝(16:00)

前日に JR 五能線の陸奥岩崎駅までアプローチし、ステーションビバークする。朝、タクシーで赤石ダムまで入る(17,000 円)。ダムの左岸を巻き赤石川本流に出る。広い河原を渡渉やヘツリを繰り返して滝川との二股に着く。ここから竿をだしてゆっくりいく。魚影は濃いがいっこうに釣れない。4時になった頃、石滝につき、この滝の手前でビバークする。二股付近からの本流沿いにはマムシが多く、数時間で3匹に出会った。

7月22日 にわか雨

BP(6:00)ーヨドメの滝(9:00)ー上二股(10:40・11:40)ー源流部(16:20)

石滝を越えると魚止めの滝のヨドメの滝まで、平流となる。ヨドメの滝(20m)は左側を登り、最後は残置されたフィックスロープに助けられて越える。上二股までの平流である。泊沢に入り沢の幅がぐっと狭くなる。20m 大滝は、右の急な草付きルンゼを上までつめ尾根に出て、その尾根を下降するとザイルを使わずに滝を越せた。滝にはハーケンが残置されているのでパートナーがいれば直登することもできるだろう。10m ナメ滝は、滝心から逃げ目に直登する。2段2条10mの滝は、右を登る。細くなった7m 滝は滝中のバンドから右へ上がるところを慎重に登る。源流部でビバークする。泊沢で尺イワナを釣り上げた。

7月23日 霧

BP(7:40)ーコル(8:10)ー二ツ森(8:35/9:20)ー春秋林道(9:45/10:20)ーJR 東八森駅(15:30)

出発後間もなく、2段4m、7mと水がチョロチョロと流れる滝が続く。7m 滝は右の悪い草付きを登る。しばらくするとネマガリタケの緩やかなブッシュとなりコルに出る。ガスのため二ツ森(泊岳)のピークからの大ブナ林を眺めることができなかったことが残念である。三町村界峰を経て春秋林道の秋田側にする。林道は、青森県境のギリギリまで伸びていた。青森県側の林道工事、現在白紙とのことであるが、もし、この赤石川沿いに林道が入り、ブナが伐採されることが計画されていると思うと恐ろしいものを感じる。

八森へは、全面スギの植林地の林道をトラックのヒッチハイクで、東八森駅まで下る。近くの潮浜温泉で汗を流す。

(記/高岸)

地図と写真をお願いします。
2ページなりますが・・・。